

秋田中央地域



建設業で地域を作り守る プロフェッショナル達の経歴書

一般社団法人 秋田中央建設業協会
秋田県秋田地域振興局建設部

はじめに

私たちが日々暮らしているこの地域は多くの社会基盤の上に成り立っています。蛇口をひねれば清潔な上水道が流れます。車で移動すれば舗装された道路上を走ります。トイレで水を流せば下水道に流れ、処理場で浄化されます。雨が降っても町中が水浸しにならないように河川があります。

このように社会基盤（公共土木施設等）は地域になくてはならない存在ですが、それを作り、また維持しているのは建設業の方々です。

しかし、建設業は3K「きつい」「汚い」「危険」と言われ、職業として敬遠されるようになっていきます。

また、こんな場面にあったことがあります。

工事現場で作業している作業員を見ていた親が一緒にいる子供に対して「ちゃんと勉強しないと、あんな仕事にしかつけないよ」と言っていたのです。確かに現場作業なのできれいではありません。雨が降れば濡れるし、深夜や早朝などの作業もあります。

しかし、現場で働く作業員は地域に役立つために働いている自負と喜びがあります。そのためにも各種の資格を取得し、様々な工事現場に対応できるよう日々研鑽しているのです。決して「あんな仕事にしか」ではないのです。

そんな、現場で頑張っている方々が、どのような経歴を持って仕事をしているか、是非皆様に知って頂きたいこのパンフレットを作成しました。その道のプロフェッショナルも最初は素人でした。そこから実務や資格取得などを経て努力してプロフェッショナルとなっていくのです。このような姿がこれから職業選択に向かう中学生や高校生、その保護者の方々の参考になれば幸いです。

秋田県秋田地域振興局

建設部長 田口 郁夫



一般社団法人 秋田中央建設業協会

会長 加藤 憲成



建設業で地域を作り守るプロフェッショナル達の経歴書

Contents

はじめに

- 01 稲葉 貴大さん〔株菅与組〕…………… 技術者
- 02 伊藤 崇規さん〔株村山組〕…………… 技術者
- 03 大友 円 さん〔秋田瀝青建設株〕…………… 技術者
- 04 太田 智也さん〔株沢木組〕…………… 技術者
- 05 星 修 さん〔株住建トレーディング〕…………… 技術者
- 06 二見 千穂さん〔中央土建株〕…………… 技術者
- 07 田村 尚子さん〔むつみ造園土木株〕…………… 技術者
- 08 江畑 勇人さん〔株寒風〕…………… 技能者
- 09 加藤 敏美さん〔株清水組〕…………… 技能者
- 10 菊地 純 さん〔株アキケン〕…………… 技能者

■建設業の仕事の種類

建設業は大きく分けて「土木」「建築」の分野に区分されます。

土木・・・道路・橋梁・河川などの社会基盤・生活基盤となる施設を整備する仕事

建築・・・住宅・学校・ビルなどの建物を建築する仕事

建設業は技術者と技能者が一緒になってつくりあげていく仕事です。

～技術者～

建設現場の工程、品質、予算、安全面等を管理し、工事全体を監督する人

～技能者～

重機の操作や型枠、鉄筋、塗装等の専門的な技術をもち、それぞれの実作業に携わる人

山を切り拓き、地域を結び、
くらしに新しい活力を与えてくれる
感動があります。



2級造園施工管理技士取得

1級舗装施工管理技術者取得

係長に昇格

age

18

23

27

32

35

36

(株)菅与組入社

1級土木施工管理技士取得

解体工事施工技士取得

地域の経済・産業の発展に貢献

秋田工業を卒業後、学んだことを活かせる職業を希望し平成9年度に(株)菅与組へ入社。初めての現場は高速道路関連道路整備工事。

当時は、やり遂げた達成感より、事故やトラブルが無く、無事完成した安堵感のほうが強かったという。

その後、稲葉さんは実務経験を積み重ね、1級土木施工管理技士などの資格を取得後、規模の大きな現場に携わっていく。近年では秋田県の主要事業である国道285号の中津又バイパスの完了時の工事にも携わった。

建設業の魅力について次のように言う。「自分のつくった道路を家族と一緒に通ったり、自分が手がけた公園で子供達が遊んでいる姿をみると、改めてこの仕事の醍醐味を感じます。」と誇らしげに語ってくれた。建設業は、地域を支える道路や橋梁、公園等を築き、社会に貢献していく大切な職業。

今後も1級造園施工管理技士やコンクリート技士などの資格を取得してレベルアップを目指し、より品質の優れたものをつくっていくという。

■ Profile

秋田工業高校土木科卒業。平成9年度に(株)菅与組へ入社。以降、1級土木施工管理技士や1級舗装施工管理技術者の資格を取得し、専門性を高め、現在は監理技術者として活躍中。主に携わった工事は高速道路関連道路や中津又バイパス等、多数。



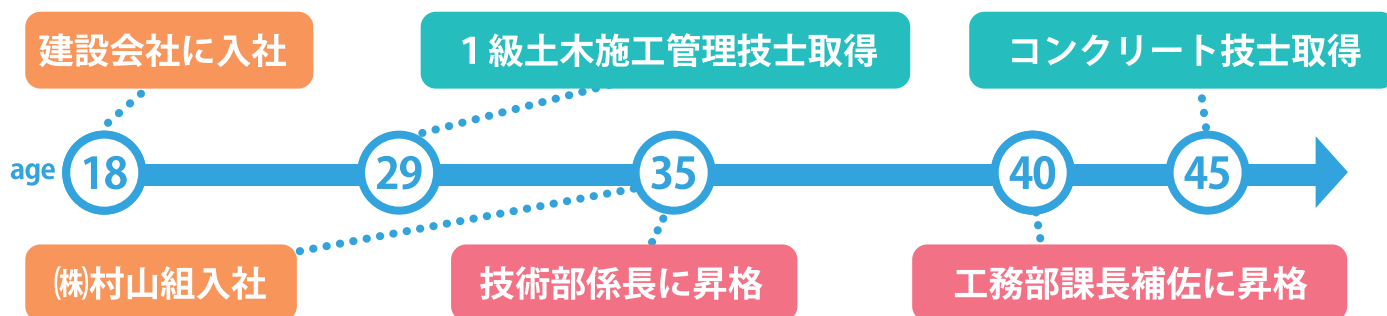
稲葉 貴大さん age38

いなば・たかひろ

(株)菅与組(潟上市)

02

社会基盤や生活基盤を整備し、
人々の暮らしを支え、住民の安全や
安心を確保しています。



災害に強い県土をつくり、地域を守る

秋田市の都市部を流れる新城川。川幅が狭い上に最下流部が大きく曲がりくねり、流域住民は毎年のように氾濫する水害に悩まされ続けてきた。

(株)村山組の伊藤さんはこの新城川の河川改修工事に完成まで関わってきた。蛇行部のバイパス区間完成後すぐに集中豪雨によって増水したものの、以前のような水害は発生せず、早速、整備効果を目の当たりにし、建設業の重要性を再認識したという。

建設業の魅力は、地域の安全を確保することに加え同じことを繰り返す単純作業ではなく、絶えず違う仕事に携わるところにあると伊藤さんは語る。「土木技術は日々進歩しており、自己研さんに努め、自分で創造しながら現場をつくりあげていくことが大事です。」という。

そんな伊藤さんは、平成24年度には国道105号の工事でも今まで経験の無かった軽量盛土工法を使った特殊工事にも携わる。

今後は解体工事施工技士の資格取得を目指し、技術の幅を広げ、規模が大きく技術的に難易度が高い現場にも携わっていきたいと意気込みをみせる。

■ Profile

秋田工業高校土木科卒業。1級土木施工管理技士の資格などを得て、平成13年度に(株)村山組へ入社。以後、新城川河川改修事業など秋田県の社会資本の整備に貢献している。



伊藤 崇規さん age50

いとう・たかき

(株)村山組(潟上市)

建設現場は技術力の集大成。
チーム一丸となってつくりあげて
いきます。



1 級土木施工管理技士取得

1 級舗装施工管理技術者取得



技術の力を結集して目標に向かう一体感

祖父が建設会社を経営していたことで、幼い頃から建設業が身近な存在であったという大友さんは、高校進学・就職と迷うことなく、土木の道を歩んできた。入社した秋田瀝青建設(株)の事業指針の一つは『人の和』であり、長く勤められる会社を目指している。アットホームな職場環境にも恵まれ、今まで実績を重ねてきた。

入社後、1 級土木施工管理技士や 1 級舗装施工管理技術者の資格を取得。会社では係長に昇格し、着実にその地位と実績を積み上げてきた。

「建設現場の仕事は、専門の職人さんが集まり、チーム一丸となって一つのものをつくり上げていくもの。自分はその中の調整役。一人一人が技術を出し合って、目標に向かって進んでいく一体感があります。」と建設業の魅力を語る。

そんな大友さんは、一般的に認知されている 3 K のイメージはそんなに感じていないという。

これから就職する人に対し、「男性の職場のイメージが強い。女性はなかなか一歩が踏み出せない。今は、女性も長

く安心して働くことができる環境が整えられてきている。少しでも興味があったら足を踏み入れてほしい。」と話す。今後はコンクリート技士の資格を取得し、さらに技術力を高めたいと抱負を語ってくれた。

■ Profile

金足農業高校農業土木科卒業。平成8年4月に秋田瀝青建設(株)へ入社。秋田国道管内交通安全対策工事など、担当した工事は多数。飯塚地区担い手育成基盤整備工事では PC 壁体工法を用いた橋梁工事の施工に携わり、優良工事知事表彰を受賞。子育てと仕事を両立しながら今年で勤続 20 年を迎える。



大友 円さん

age38

おとも・まどか

秋田瀝青建設(株)(潟上市)

04

建築現場は人のため、社会のため、
未来を築き上げていく仕事です。



ものづくりの達成感と魅力がある

太田さんは実業高校で学んだ建築の知識を生かし、地元で社会貢献したいとの思いから(株)沢木組へ入社。現場の魅力は何もない更地から段階を踏んで徐々に形が出来上がっていく過程が見えること。特に足場を解体し、新しい建物が姿を現した瞬間は、達成感がこみ上げてくるという。

職場環境について次のように語る。「若い人が毎年入っており、にぎやかで活気があります。確かに他の職種に比べて暑いときや寒いときがあります。ですが以前に比べ待遇は改善されていると感じます。」

現場は、測量技術や施工の機械化が進み、計算や図面等のソフトを使うため、以前に比べ効率性が格段に向上しているとのこと。

これから就職する若い世代へのメッセージは「職人さんや地域住民など様々な人と接する機会が多い。コミュニケーション能力を高めていくことが大切。」と語ってくれた。これから取得したい資格は1級土木施工管理技士。

現在は上小阿仁村の森林管理局新築工事に着手しており、今後も仕事を通じ、暮らしを支え、地域・社会に残るような現場をつくっていきたいと意気込みを見せた。

■ Profile

秋田工業高校建築科卒業。平成8年度に(株)沢木組へ入社。
2級建築士や1級建築施工管理技士の資格を取得し、秋田河川国道事務所発注 金浦 IC ステーション建築工事(平成25年度東北地方工事安全施工推進大会現場代理人表彰受賞)などに従事。



太田 智也さん age38

おおた・ともや

(株)沢木組(男鹿市)

仕事なのでももちろんきついついところがあります。でも、そういう側面もありながら物をつくりだす感動のほう



1級土木施工管理技士取得

1級舗装工事管理技術者取得

1級建築施工管理技士取得

age

29

39

44

46

49

(株)住建トレーディングに入社

次長に昇格

土木工事部長に昇格

資格と実績でキャリアアップが可能

宮城県出身の星さんは、高校卒業後、地元の手電機メーカーに勤務。製造工程の作業に携わりながら、ものづくりに魅力を感じていた星さんは、知り合いの紹介で秋田市の(株)住建トレーディングに入社。新たな一歩を踏み出した。

未知の建設業のスタートラインにたった星さんは、その後、様々な業種の資格を取得し、今は土木工事部長として会社になくてはならない存在に至る。

会社に入ってから資格を取得し、現場の実績や経験を積み上げていくことができるという。

「毎日やるべきことを確実に積み重ねていくことによって、未来予測図を描くことが出来ます。特に建設業は資格が重要視され、資格を取ることで、仕事の幅も広がってきます。」

休日は現場の状況に合わせてながら計画的に取得している星さんは、プライベートはもっぱら家庭菜園に勤しむ。

現在は秋田市の電線共同溝の業務を進めながら今後は1級管工事の取得に向けて取り組んでいるという。オールマイティな技術者として更なる飛躍が期待される。

■ Profile

宮城県築館高校卒業。平成8年度に(株)住建トレーディングへ入社。1級建築施工管理技士をはじめ取得した資格は多数。これらの資格を活用し、オールラウンドに活躍中。



星 修さん

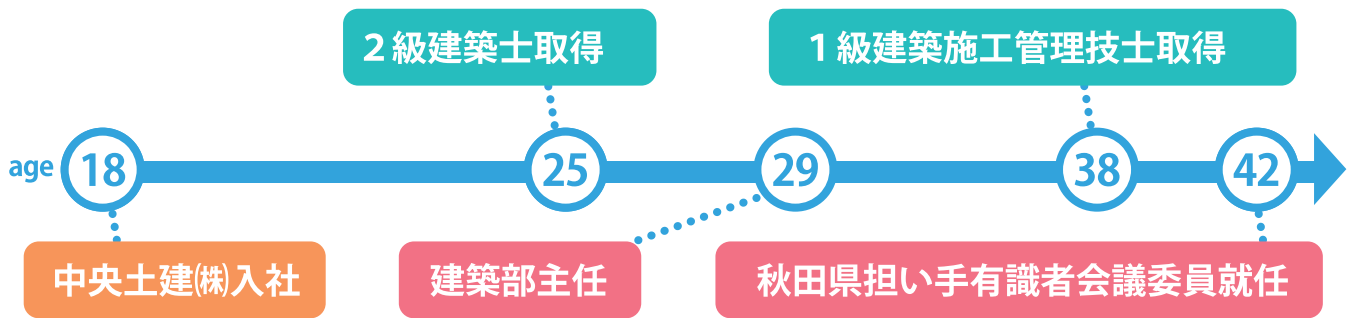
age49

ほし・おさむ

(株)住建トレーディング (秋田市)

06

建設業は、人のつながりを大切にしながら経験を積み重ねながら成長していくことが出来る職業です。



様々な人達とふれあい・出会いがある職場

高校の恩師の後押しもあって中央土建(株)に入社し、墨出し作業からスタートした二見さん。思い出に残る現場は15年前のスーパー改修工事だという。

「経験や実績が少ない中、現場の課題に直面し、悩みながら仕事を進めてきたことを覚えています。上司や職人さんなど周りの人たちの支えによって、何とか期限内に完成させることが出来ました。」と人との繋がりの大切さを実感したという。現在も職人さん達との信頼関係を築きながら、一緒に現場をつくりあげている。

そんな二見さんも出産、子育てのときは現場との両立が難しいとの思いから、会社を辞めることも考えたときを振り返る。「子育てについて会社の理解や周囲のフォローがあって現在まで仕事を続けることができています。」

特にやりがいを感じる瞬間は建物が完成したとき。お客さんから『今までありがとう』や会社から『お疲れさん』と声をかけてもらうその一言につきるといふ。子供達も一番の理解者。一日を乗り切って自宅に帰ると暖かく声をかけてくれる。

「スケールの大きなものは建物が積みあがっていく醍醐味が

ありますが、それだけ時間もかかります。規模ではなく、多くのお客さんに接しながら喜んでもらえる現場づくりを目指していきます。」と今後も地域に密着した現場に携わっていきたくないと抱負を語ってくれた。

■ Profile

秋田工業高校建築科卒業。平成4年度に中央土建(株)へ入社。以降、2級建築士や1級建築施工管理技士の資格を取得し、県庁舎外壁タイル改修工事等、主に建築関係の現場を手掛けてきた。現在は、「秋田県担い手有識者会議」の委員としても活躍中。



二見 千穂さん age42

ふたみ・ちほ

中央土建(株)(秋田市)

多くの人とふれあいながら
やりがいを感じさせてくれる仕事です。



むつみ造園土木(株)入社

2級造園施工管理技士取得

樹木医取得

age

22

25

27

29

「秋田県環境と文化のむら」総括担当

2級土木施工管理技士取得

女性も第一線で活躍できる職場環境

「県立大学在学中、植物にふれる仕事に憧れて、『むつみ造園土木(株)』を選びました。自然に囲まれた素晴らしい職場環境の中で、仕事をおこなうことができます。」

むつみ造園土木(株)は、生態系公園(大湯村)、小泉瀧公園(秋田市)など指定管理者※として施設や緑地の維持管理などをおこなっている。公園・緑地整備、緑化施設の維持管理業務に携わりながら、自然・文化や森のガイドとして幅広く活躍する田村さん。ハンドガイドの草刈り機はもちろん、乗用型の草刈り機械も乗り回している。

会社は子育て支援に積極的に取り組み、長く勤めることができる環境を整えている。そのため、職場にも多くの女性が活躍し、活気に満ち溢れている。

「女性も室内だけではなく、フィールドで活躍することが出来ます。確かに、日差しが強く、過酷な天候条件の中でも顧客の要望に応えなければならないときもあります。でも、完成したときの顧客の喜びの音がやりがいを感じさせてくれます。」と笑顔で語ってくれた。

今後は、1級土木施工管理技士や1級造園施工管理技士の資格に加え、狩猟にもチャレンジしたいとのこと。造園・土木に関する知識を伸ばし、植物・動物オールマイティな案内人としてさらに飛躍しながらフィールドを駆け回る。

※指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公共施設の管理・運営を民間企業が代行できる制度。

Profile

秋田県立大学卒業。平成20年度にむつみ造園土木(株)へ入社。2級土木施工管理技士や2級造園施工管理技士に加え、樹木医の資格も取得。公園のコーディネーターや「秋田県環境と文化のむら」総括担当としても活躍中。



田村 尚子さん age30

たむら・ひさこ

むつみ造園土木(株)(秋田市)

08

職人たちはその道の専門家。
匠の技で現場を仕上げていきます。



1級石材施工（石張り作業）技能士取得

2級土木施工管理技士取得

age

22

26

35

42

(株)寒風入社

1級石材施工（石積み作業）技能士取得

地域の風土と歴史を築き上げる魅力

江畑さんは原石を小割して間知石等、多くの石製品を作る県内でも数少ない石工職人。加工から施工まで一切の業務を司る。

素材特有の意匠性がある男鹿石は石積み護岸をはじめ階段や外構など用途は多岐に渡る。そのため、地元男鹿市だけでなく全国各地でも需要があり、江畑さんは全国を忙しく駆け回っている。

「石積みは歴史に残る仕事。誇りをもって後世に残るような仕事をしたい。」と言う。

自分の手掛けたものが、形として残り、風合いを増しながら、その地域の財産として、その地域に何十年、何百年先まで受け継がれていく。

今後は、東日本大震災や熊本地震などの被災地においても石積みを通して、地域の人たちが安らぎや潤いを感じることが出来る空間をつくっていききたいと言う。

この仕事为天職という江畑さんは、今後は1級造園施工管理技士などを取得し、さらに仕事の幅を広げていきたいと熱く語ってくれた。

■ Profile

男鹿工業高校卒業。平成2年度に(株)寒風へ入社。入社後は石材施工技能士を取得し、阪神淡路大震災の復興モニュメントも手がけた。資格取得後は現場の責任者として管理監督も務めている。



江畑 勇人さん age47

えばた・ゆうと

(株)寒風(男鹿市)

建設業は災害対応の最前線。
皆さんの安全のために活躍します。



(株)清水組入社

女川町等の災害復旧工事に従事

age

25

38

48

49

移動式クレーン運転士取得

海上起重基幹技能者取得

建設業は復興・再生の原動力

加藤さんは秋田高等職業訓練校を卒業後、関東方面で自動車整備や杭打ち関係の仕事に従事。そこで、クレーン関係の機械に魅了され、移動式クレーン運転士等の資格を取得。平成10年度に故郷秋田に戻り、地元建設企業を経て平成14年度に(株)清水組へ入社。その後、秋田県内の港湾・漁港関係の多くの工事を手掛けてきた。東日本大震災では女川町海中啓開作業など被災地の復興の一翼も担ってきた。

(株)清水組の清水副社長は次のようにいう。「大災害が発生したとき、建設機械と操作できる人は車の両輪と同じ。大型機械を操作できる人は、地域の防災の観点でも、企業にとっても欠かすことが出来ない存在です。」

加藤さんは震災時の啓開作業に従事したときの思い出を次のように話す。「女川町の復興事業に携わっているときに地元の方が黙って差し入れを置いて行ってくれました。言葉で言われなくても感謝の気持ちが伝わってきましたね。このような仕事に対する使命感を改めて感じました。」

加藤さんはこれから就職する人に対して次のように言う。「土木の役割や建設機械の仕組み等、初めはなんでもいので興味を持つことが大切です。そこから、徐々に資格を取得し、社会に貢献してほしい。」

■ Profile

男鹿東中学校卒業。平成14年度に(株)清水組へ入社。海上工事の現場をまとめ調整役となる海上起重基幹技能者や移動式クレーン運転士の資格を取得。主に港湾・漁港関係の仕事に携わる。東日本大震災後は被災地での災害復旧工事に携わった。



加藤 敏美さん age53

かとう・としみ

(株)清水組(男鹿市)

10

地域に根差し、暮らしを支える
仕事に携わっています。



建設機械系・車両系免許取得

大型特殊免許取得

age

33

34

38

溶接関係技術取得

(株)アキケンに入社

オペレーターとして活躍中

普通高校出身の異業種から転職し活躍中

もともとサービス業に携わり、建設業との接点が無かった菊地さん。雇用開発訓練校で舗装の面白さに触れ、建設機械関係の免許を取得。その後、親族の紹介で(株)アキケンに入社した。菊地さんの初めての現場は男鹿市の舗装工事。「日々出来上がっていく現場を自分の目で確かめながら、進めていくことは楽しく、やりがいを感じます。完成したときは、お客さんには『きれいになった。』『便利になった。』と言ってもらえます。」と道路が完成したときの感動を伝えてくれた。

菊地さんは、舗装工事のほか、冬季は除雪作業にも従事。地域に密着し、私たちの暮らしを支えてくれる。「建設産業はものづくりであり、手に職をつけることができ、社会貢献にもつながる。」という。今後は移動式クレーン運転士や建設機械施工技士の免許を取得し、現場のクオリティを高めていきたいと意欲を示す。「きついときも場合によってありますが、3Kという言葉に感

わされず、つくる喜びや楽しさを知ってほしい。」と今後も地域の皆さんに喜ばれる現場に携わっていきたくないと語ってくれた。

■ Profile

秋田経法大付属高校卒業。仙台国際ホテル専門学校、その後、秋田市内のサービス業に就職。平成23年度までは雇用開発訓練校、この中で建設機械系や車両系の免許を取得。平成24年度に(株)アキケンに入社。



菊地 純さん

age38

きくち・じゅん

(株)アキケン(秋田市)

Professional



【お問い合わせ】

一般社団法人 秋田中央建設業協会


〒010-0951 秋田市山王 4-3-7

☎: 018-862-7778 FAX: 018-865-2443

URL <http://www.akenkyo.or.jp/>



※ここにある情報は、平成28年11月時点のものになります。

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。